



春日部市議会議員 佐藤 一

はじめ さとう 一 後援会だより

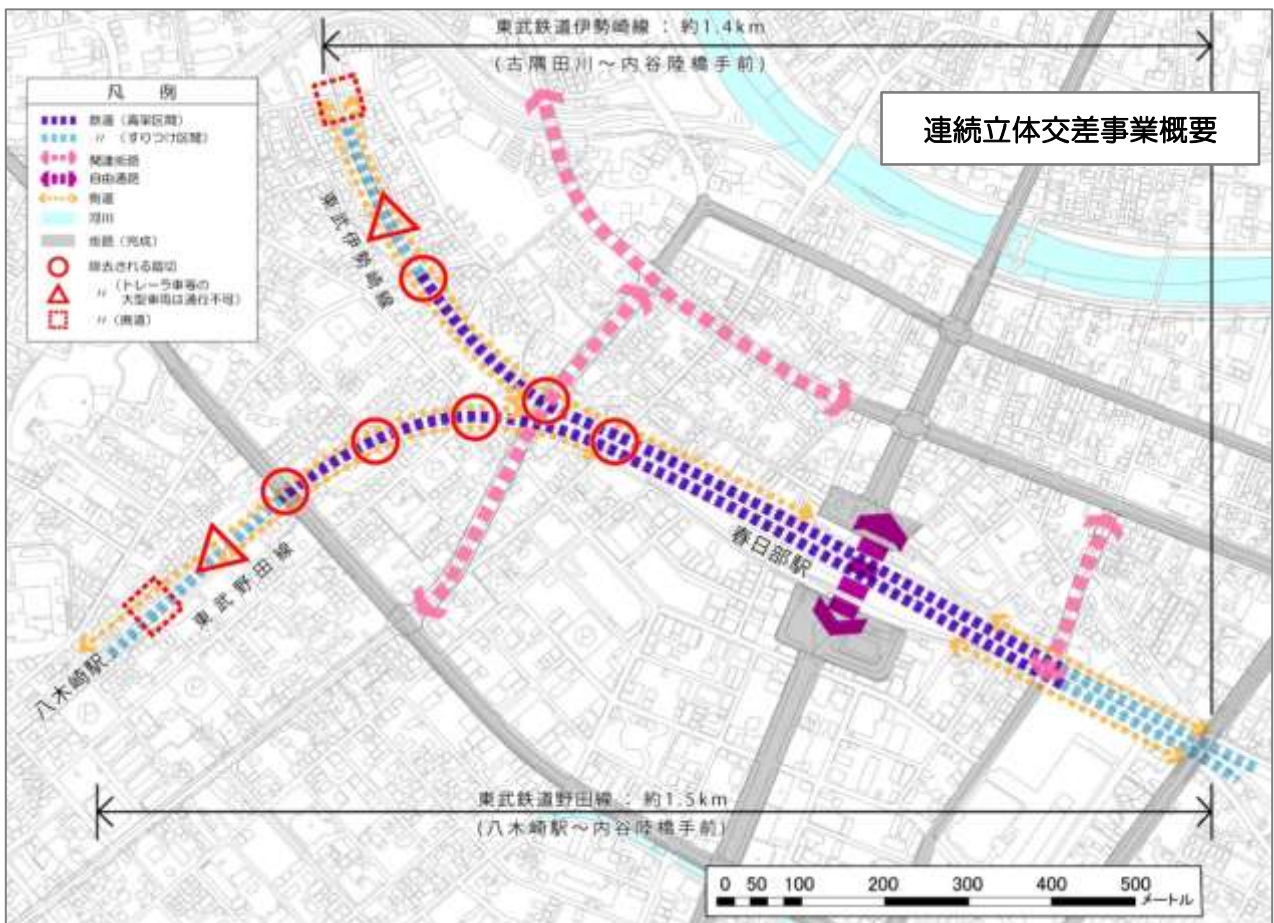
絆をつないで、
KIZUNA 活力ある、
魅力ある春日部に

後援会内部資料
第35号 発行
平成 29年1月吉日
さとう 一 後援会
会長 佐藤松夫
春日部市小洲 1912
Tel/fax
048-761-7753

私の一般質問（平成28年12月議会報告）

①「春日部駅付近連続立体交差事業の進捗と今後の見通しについて」

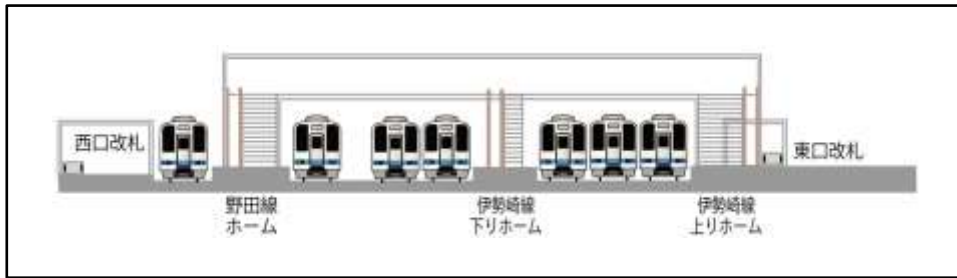
春日部市の中心市街地においては、開かずの踏切や鉄道による市街地の分断、また東西交通の遮断など様々な課題が山積している。これらの課題を抜本的に解消するのが「春日部駅付近連続立体交差事業」であります。以下は質問及び答弁です。



質問① 県と市による、3つの課題（まちづくり、事業期間の短縮、財源確保）解決の検討を行っている中で輸送改善の提案が東武鉄道より有りましたが、具体的内容等については？

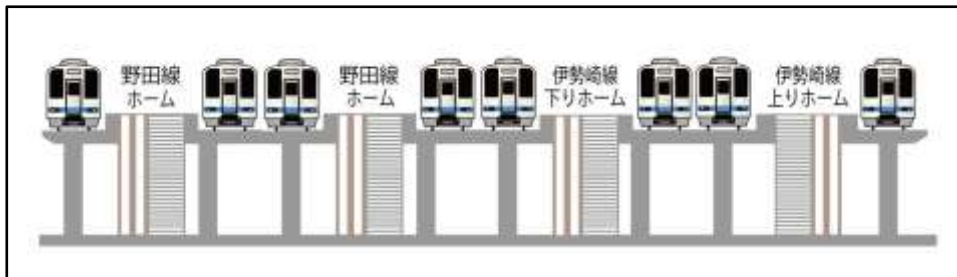
答弁① 内容は、東武アーバンパークラインホーム（東武野田線）路線2線に対し、ホーム2面、路線4線への改善です。これにより、東武アーバンパークライン・東武スカイツリーライン直通列車のスムーズな運行や増発、将来のアーバンパークライン全線において、列車の

追い越しや、乗換の利便向上が図れる。



現状
3面7線

※ これはイメージ図です。



計画案
4面8線

質問② 輸送改善計画を受けて、どのような作業が必要となるのか？

答弁② 今回の輸送改善計画を三者（埼玉県、春日部市、東武鉄道）で合意したものと取りまとめ、その後、国土交通省との協議に入っていく。その後、都市計画決定手続き、そして国へ事業認可の申請を行っていく。



質問③ 平成29年度つまり平成30年3月末までに事業認可取得は難しいということか？

答弁③ 事業化のためには、県市で東武鉄道の計画を確認し、三者（埼玉県、春日部市、東武鉄道）で合意した計画とする必要があるため、当初予定より一定の時間を要する。

質問④ 中心市街地における課題のひとつである、春日部駅周辺の東西通行については？

答弁④ 出来る限り早い時期に、東西の行き来が出来るようにしたい。県や東武鉄道との協議の中で工事期間中の東西通行の申し入れを行う。工事着手までの対策についても考えていく。

質問⑤ 今後について、市長の考えは？

答弁⑤ 輸送改善の計画提示を受け、事業化に向けての検討項目について三者で確認した。事業化に向けて一定の前進が図られたものと考えている。早期事業化に向け全力で取り組んでいく。



② 「エキスパート職員の活用について」

将来に渡り魅力あるまちづくりを進めていくことが、重要となって来ている今、エキスパート型の職員（専門知識や独創性、高い政策形成能力を持つ）が求められている。これからは、複線型人事制度（特定分野のスペシャリストとして活用していく）の活用により、ゼネラリスト型職員（広く業務を的確に執行していく）とエキスパート型職員が連携協力して、新しい時代に適合した政策を生み出していく組織体制を構築していくことが重要であると考えます。

- 質問①** 市では、概ね10年間を目安に複線型人事制度を導入し、人材マネジメントの考え方を導入しているが、活用状況については？
- 答弁①** 複線型人事制度は平成26年度から導入した。平成28年4月1日現在、11名の職員が配置されている。
- 質問②** 重要施策にエキスパート職員の登用については？
- 答弁②** 市の重要施策へ優先的に配置することは重要である。今後配置拡充を図っていく。
- 質問③** ジョブローテーションについては？
- 答弁③** 人材育成型ジョブローテーションを実施している。今後もバランス感覚に優れて人材育成に努めていく。
- 質問④** 再任用職員をエキスパート職員としての登用については？
- 答弁④** 今後は様々な見地から判断していく。



※人材マネジメントとは、「人」を経営資源として捉え、効率的かつ有効に活用していくこと。
 ※ジョブローテーションとは、能力開発を目的に多くの業務経験させるため定期的に異動させること。



これからも、「さとう^{はじめ}」は、市民の皆様のために頑張ります!!

公式ホームページ <http://satouhajime.com/>

※ ブログ・facebookページもあります。



平成28年12月議会報告（主なものを掲載します）

1、春日部市税条例等の一部改正について

- ① スイッチOTC薬（医療用から転用された医薬品）控除の導入→平成30年度から平成34年度までの年度分に限り、1万2千円を超える額を控除する。（現行の医療費控除との選択制）
- ② 軽自動車税に係る税率特例の延長→平成28年度に新規取得した3輪以上の軽自動車（新車）に、平成29年度に限り適用する。（平成29年4月1日施行）

2、春日部市手数料条例の一部改正について

「道路台帳の写し、官民境界に関する資料の写し、公共下水道台帳の写し、水道台帳の写し」は、1件につき200円の手数料を徴収する。（平成29年4月1日から施行）

3、国民健康保険税条例について（主なもの）

国の平成28年度税制改正に基づき、課税限度額の見直しがされる。（平成29年4月1日施行）
基礎課税（医療保険分）52万円→54万円に、後期高齢者支援金等分を17万円→19万円に引き上げる。

4、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

利用定員19人未満の小規模な通所介護について、地域密着型サービスに位置づけることになった。（平成29年1月1日から施行）

5、情報系システムセキュリティ強化対策業務機器一式の取得について

サイバー攻撃対応の機器を導入するもの。 予算額4621万2444円

6、春日部市立中央図書館の指定管理について

指定する団体は、株式会社図書館流通センター（選定理由として①全国規模の指定管理者とし豊富な経験と実績によるノウハウを導入している。例えば読書通帳の導入等 ②春日部市と市民生活に密接な企画の提案があり、図書館利用の拡大期待ができる。例えば桐筆笥製作所見学会等）であり、期間は平成29年4月1日から平成32年3月31日までの3年間とした。

7、一般会計補正予算について（主なもの） 補正額20億420万1千円

国庫支出金（国からの交付金）の内示、国からの経済対策臨時福祉給付金給付事業や武里内牧線整備事業、義務教育学校整備事業等に対応するため補正予算を行ったもの。

① 主な歳出について

国民健康保険特別会計 1億9217万3千円（高額医療費増による）

経済対策臨時福祉給付金 6億5292万4千円

（対象者1人15000円支給。平成29年4月頃予定。対象者には諸条件あり）

生活保護事業 5億8309万円（医療費増による）

武里内牧線整備事業 3億5743万2千円（春日部市開発公社より用地購入）

小学校施設修繕（川辺小トイレ、小淵小給食室、立野小トイレ、粕壁小外壁）467万6千円

中学校施設修繕（緑中学校エレベーター修繕）2857万3千円

義務教育学校整備事業（江戸川中学校校舎の設計等）4619万3千円

所感：会派（新政の会）を代表して鉄道高架事業の一般質問を行いました。ようやくにして東武鉄道の案が出て来ました。市の職員も一生懸命に取り組んでいます。課題である東西通行にも工事着手の間でも取り組んでくれます。一日も早い鉄道高架事業の完成と東西通路開通を要望して参ります。

※ 次回の平成29年3月定例会は、2月20日開会予定です。



これからも、「さとう^{はじめ}」は、市民の皆様の為に頑張ります!!

公式ホームページ <http://satouhajime.com/>

※ ブログ・facebookページもあります。

